

令和4年8月9日（火）
国土交通省関東地方整備局
総務部

記者発表資料

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第1回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第1回定例会議が、令和4年7月13日、Web会議で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、物品・役務の提供等1件の入札結果が審議されました。
審議内容は別紙のとおりです。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

〈第二部会〉
国土交通省関東地方整備局
神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番地
横浜第2合同庁舎
電話 045-211-7413（代）
メールアドレス pa.ktr-keichou@mlit.go.jp

契約管理官	たくち 田口	ゆみこ 由美子	(内線5880)
経理調達課長	いそだに 磯谷	ともひこ 智彦	(内線5870)
品質確保室長	ひろせ 廣瀬	よしあき 好明	(内線5797)

令和4年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	令和4年7月13日(水) [Web会議] 関東地方整備局 131会議室	
委員	手塚 広一郎(日本大学 経済学部長) 渡 邊 健 治(東京大学大学院 准教授) 土 屋 志 穂(拓殖大学 准教授)	
審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年3月31日	
審議案件	総件数	5件
工 事		
一般競争入札方式		2件
	政府調達	1件
	政府調達以外	1件
建設コンサルタント業務等		2件
物品・役務		1件
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問	説明・回答
	別添のとおり	別添のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

契約管理官 田 口 由美子

経理調達課長 磯 谷 智彦

品質確保室長 廣 瀬 好明

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況等報告 (2) 指名停止等の運用状況等報告 (3) 談合情報等の対応状況報告 (4) 不調・不落の発生状況報告 (5) 事務所毎の平均落札率の推移</p> <p>(1)～(5) 報告内容に対する意見・質問なし</p>	
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達・空港等舗装工事） 「令和3年度 東京国際空港B滑走路舗装改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全社が調査基準価格を下回る低入札であったとのことだが、その原因は何だったのか。 • アスファルト屑の処分価格が安価であっても、適正に処分されるのかどうかについて、契約段階において確認されているのか。 • 低入札調査の期間が10月26日から11月2日までとなっており、短いように感じられるが、この期間内に調査を行う事は可能なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • アスファルト屑の処分単価は公表されていないことに加え、昨今の資材価格の急激な高騰の中、再生資源材の処分単価の変動が時期により大きい点が主な原因であると考えております。 • 契約前に施工体制ヒアリングを実施しており、品質確保の実効性の観点からアスファルト屑の受入価格や受入先を確認するとともに、施工体制の確認及び体制確保の確実性の観点から受入先の処分能力等をヒアリングにより確認し、適正に処分されることを確認しております。 • 入札説明書において、15項目の低入札調査を実施する旨を記載しておりますが、一部の項目については、低入札調査前に行う施工体制確認ヒアリングのための追加資料と重複しております。また、低入札調査においては、その価格により入札した理由並びに会社の経営状況及び信用状況を確認することとなりますが、所定の期間内で確認することは可能でした。

<p>【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外・港湾等しゅんせつ工事） 「令和3年度 鹿島港外港地区航路・泊地(-12m)浚渫工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終的な評価値の差について、評価値1位と2位が逆転するには、どのくらいの金額で入札すれば良いのか。評価点から算出できるものなのか。 配置予定技術者の技術力において、落札者と応札者Aとの間で点差が開いている項目について、どのような評価がされているのか。また、評価方法は入札参加者に事前に明示されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価値は、入札参加者毎に与えられる「標準点」、「加算点」及び「施工体制評価点」の合計点を当該入札参加者の入札価格で除して算出しております。2位となった者の合計点は、164,000点であるため、この者が460,000,000円で入札すると、落札者が逆転し、評価値が1位となります。ただし、この金額で入札した場合は調査基準価格を下回ることとなります。 落札者の配置予定技術者は同種工事の実績及び当該工事に有効な資格である「海上工事施工管理技術者」を保有していましたが、応札者Aの配置予定技術者が保有していたのは類似工事の実績であったため、落札者の評価点が高くなっております。具体的には、「岩盤の浚渫」と「砂質土の浚渫」という施工経験の違いにより評価点に差がついております。また、評価方法については、評価項目についてそれぞれ評価を行い、各々の評価点を算出することを明記した評価基準を入札公告時に提示しております。
<p>【事案3】 簡易公募型競争入札方式（測量・調査） 「令和3年度 横浜港新本牧地区土質調査(その4)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 土質調査について、非常に重要な調査だと思うが、実施方法等は事前に定められているということでしょうか。 地盤を起因とした施工後の不具合が発生するような場合もあり、規定に準拠して機械的に調査を実施するのではなく、従来の経験等を踏まえて、弾力的に調査数を増やす等の措置をした方がトータルで見るとコストが削減できるとも考えられるが、この現場においては、事前にそのような事は検討されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の場所、数量、試験方法等については仕様書において定めており、調査箇所は規定に準拠し調査数量等を決定し実施しております。 調査の実施に関しては、事前に地盤条件等を勘察し、検討した上で調査内容を決めております。今回の調査につきましても、前年度の調査結果を踏まえ、地盤が悪い箇所は、ボーリングを実施する場所の幅を縮小するなど、弾力的な対応を図っております。

<ul style="list-style-type: none"> • 落札者の入札金額は、次順位の応札者より高い状況であるが、簡易公募型競争入札方式においては、入札金額よりも技術評価値の方が重視されるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今回の総合評価においては、入札による価格評価点と技術評価点の割合が（1：1）となっており、価格と技術の両面を総合的に評価した結果、落札者が1位となりました。
<p>意見・質問</p>	<p>説明・回答</p>
<p>【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「令和3年度 港湾整備におけるICTを活用した事業調整円滑化方策検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1者応札となっているが、今後、複数者が入れるような改善策は講じているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 技術要件を設定する際に、同種業務対象業者12社、類似業務対象業者54社が存在している事を確認しております。 今後も新規発注を行う際は、引き続き、同種又は類似業務の受注実績者が多く存在することを確認しながら要件設定を行って参ります。
<p>【事案5】 随意契約方式（役務の提供） 「令和3年度 軽石漂流に伴う撤去・回収作業模擬訓練」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本件は業務を実施した後に見積合わせを行っているとのことだが、見積合わせまでの間、受注者とはどのような手続きがされているのか。 • 当初の予定より実施段階において大幅なコスト増になった場合にも、対応出来るようになっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 受注者より、業務報告書と見積書を提出していただき、当局側は内容審査を行い、費用の妥当性を確認しております。具体的には、使用船舶の隻数や使用機材の数量等を確認しております。 • 業務実施前にどのような資機材を使用する予定であるかについて事前に確認しているところではありませんが、業務完了後の報告段階でも改めて確認し、積算に反映しております。
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし。</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和3年度 東京国際空港B滑走路舗装改良工事	空港等舗装工事	6	6	R3.11.15	日本道路株式会社	768,460	90.8	
一般競争入札方式	令和3年度 鹿島港外港地区航路・泊地(-12m)浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	4	4	R4.3.29	東洋建設株式会社	533,995	90.5	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型競争入札方式	令和3年度 横浜港新本牧地区土質調査(その4)	測量・調査	3	3	R4.3.25	川崎地質株式会社	54,230	84.8	
入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	令和3年度 港湾整備におけるICTを活用した事業調整円滑化方策検討業務	建設コンサルタント等	1	1	R3.12.10	一般財団法人みなと総合研究財団	37,400	99.1	

【物品・役務の提供等】

入札方式	業務名	業種区分	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
随意契約方式	令和3年度 軽石漂流に伴う撤去・回収作業模擬訓練	—	R4.3.10	五洋建設株式会社	2,640	86.6	